



コロナ禍における赤十字奉仕団ボランティア活動

地域に根差した赤十字ボランティア活動を行う赤十字奉仕団。

コロナ禍でも赤十字奉仕団は活動しています。

雫石町赤十字奉仕団は、特別養護老人ホーム日鷲鳴荘からの依頼によりゴミ袋で医療用ガウンを作りました。このガウンは施設内で発熱の症状があった利用者等への対応や感染予防対策のための備蓄用として作成されました。

5月25日に、雫石町総合福祉センターで鷲鳴荘の職員から説明を受け、作成作業を行いました。その後、団員が定期的に集まり、感染予防対策を取りながら作業を進め、6月上旬に約1,000枚を鷲鳴荘へ届けました。

これまでに県内の赤十字奉仕団や有功会から手作りの布マスク大人用と子供用合わせて、約1,400枚を当支部や管内赤十字施設へ寄付していただきました。マスクは水玉や花柄等の色鮮やかなもの、子どもに合わせたかわいらしい柄のものなど、丁寧に縫い合わせて作られています。ボランティアの皆さんの役に立ちたいという思いが込められたマスクやガウンは施設利用者の感染予防のため大切に使用していただいています。



赤十字レッドライトアッププロジェクトに参加しました



本年も赤十字レッドライトアッププロジェクトを5月8日から28日まで開催しました。

このプロジェクトは盛岡城跡公園の石垣の一部を赤十字のシンボルカラーである赤色でライトアップし、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、赤十字の創設者アンリー・デュナンが訴えた「人道」への理解を深めることを目的として行われています。また、本年は新型コロナウイルスに必死で対応している医療従事者へのエールを込めてライトアップしました。



各講習のお知らせについて

令和2年2月末から5月末まで、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、各講習を全て中止としておりました。

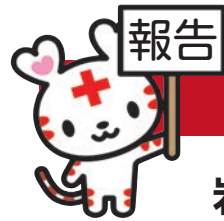
6月1日から、各講習とも短期講習を再開しましたが、開催には一部制限を設けて実施しております。(例：十分な換気ができる会場・人との間隔は2m程度確保する・健康チェックリストを使用しての確認・参加人数は20名前後、など) 詳細につきましては、電話で直接お問い合わせください。

担当：事業推進課 木村・今村



「令和元年台風第19号災害義援金（岩手県）」受付終了のお知らせとお礼

昨年、岩手県内でも甚大な被害をもたらした令和元年台風第19号災害の義援金（岩手県）の受付が令和2年3月31日をもって終了いたしました。皆さまからお寄せいただいた義援金の総額は321,319,526円となり、岩手県の義援金配分委員会を通じて、全額被災者に届けられます。多くのご支援に感謝申し上げます。



義援金受付状況について

岩手県支部への受付状況（H23.3.12～R2.3.31 現在）

義援金名	受付期間	件数	金額
東日本大震災義援金	H23.3.12～R3.3.31	592件	535,470,787円
平成28年熊本地震災害義援金	H28.4.15～R2.3.31	52件	1,954,626円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	H30.9.11～R2.3.31	17件	2,249,776円
令和元年台風第15号千葉災害義援金	R1.9.18～R2.6.30	2件	196,141円
令和元年台風第19号災害義援金（岩手県）	R1.10.16～R2.3.31	574件	321,319,526円

皆さまのあたたかいご支援に心よりお礼申し上げます。

お寄せいただいた義援金は全額が被災された方々のお手元に届けられます。手数料等を日本赤十字社がいただくことは一切ございません。

赤十字の活動は皆さまからいただく活動資金によって支えられています。
岩手県支部の活動費である活動資金のご協力につきましては、当支部ホームページをご覧ください。
これからも引き続き赤十字の活動にご協力をお願いいたします。

赤十字いわて

No.55
2020 夏季号

コロナ禍でも赤十字ボランティア活動！

赤十字奉仕団の皆さんからマスクの寄贈！子ども達も大喜び！

[特集記事へ](#)



日赤岩手県支部では、Instagramを始めました。
ぜひ、フォローをお願いします。当支部ホームページをご覧ください。



日赤岩手県支部

検索





報告

新型コロナウイルス感染症にかかる赤十字救護班の活動について

日本赤十字社は新型コロナウイルスの発生初期段階で、政府からの要請に基づき、横浜港に停泊したクルーズ船に救護班や DMAT（災害派遣医療チーム）を派遣しました。全国の赤十字病院を中心とした医療スタッフが、船内の乗客乗員や武漢市からの帰国者一時待機施設で救護活動や感染者を指定医療機関に搬送しました。



クルーズ船内では、乗客の健康確保、医療行為、感染患者の感染症指定医療機関への搬送、帰国者や下船者の対応を行いました。

船内は外国語が主な言語であり、日赤救護班の海外での医療支援の経験が生かされ、迅速な対応ができました。

岩手県支部も医療スタッフを救護班として一時滞在施設に派遣し、帰国者・下船者の経過観察や健康相談・健康チェックに努めました。



今回のような感染症が蔓延する閉鎖空間での救護活動は前例が無く、防護服の着用をはじめ出来る限りの感染対策を行いました。

クルーズ船や一時滞在施設で奮闘した赤十字の医療従事者のべ 255 人から 1 人も感染者を出すことなく帰還できたことは同じ職員として誇りに思います。



盛岡赤十字病院

糖尿病週末食事体験入院のご案内

糖尿病を患っている方で、「入院を勧められたが忙しくて仕事が休めない方」「ご自身に最適な食事療養について知りたい方」「新たな気持ちで治療に取り組む“きっかけ”が欲しい方」等を対象に週末のみ 1 泊 2 日（または 2 泊 3 日）で食事体験入院を実施しております。

料金等の詳しい情報は当院ホームページをご覧ください。当院地域医療連携室（Tel 019-637-3312 ※平日 8：30～17：00）へお問い合わせください。

なお、この体験入院への申込みには、かかりつけ医からの紹介が必要となります。



岩手県赤十字血液センター

皆さまの定期的な献血にご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中でも、輸血を必要とする患者さんがいらっしゃいます。血液センターでは、皆さまに安心して献血にご協力いただくために献血会場の良好な衛生環境の保持の他、ご協力いただく方には手指消毒やマスクの着用、検温をお願いしています。また、献血にご協力いただく方が一時的に集中することによる密集や密接を避けるため、可能な方には献血の事前予約もお願いしております。輸血を受ける患者さんのため、皆さまの定期的な献血へのご協力をよろしくお願いいたします。

お電話でのご予約方法

merci もりおか献血ルームメルシーでの献血のご予約は、フリーダイヤル **0120-133-343** (12/31、1/1 を除く 9：30～18：00)

献血車まごころ号での献血のご予約は、岩手県赤十字血液センター献血推進課
TEL **019-637-7201**
(平日 8：30～17：00)

献血にご協力いただく前のお願い



手指消毒



検 温



マスクの着用

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」のご予約方法

献血 Web 会員サービスの「ラブラッド」でも献血のご予約を受付けております。
※「ラブラッド」でのご予約は、一度献血にご協力いただき、ご登録が必要となります。
※ 前日の 17 時までにご予約をお願いいたします。

献血の基準、献血ルームの受付時間、まごころ号の運行スケジュール、ラブラッドへのご登録方法など、献血に関する情報については、血液センターホームページをご覧ください。

岩手 献血 検索

血液センターホームページ
<https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/>

日赤岩手乳児院

「さまざまな家族の形」 ～日赤岩手乳児院の里親支援について～

里親制度とは？

里親制度は家庭での養育が困難または受けられなくなった子どもの健やかな育ちを社会で担っていくという制度です。一定期間お子さんを養育して下さる「養育里親」さんが増えてきています。



ボランティアさんとの触れ合い



普及活動の里親制度説明会に参加

当院での取り組み

当院では、2018 年より里親支援専門相談員を配置し、県の委託を受けて里親支援事業をしており、里親さん同士がほっと一息ついて語り合える場や学びの場を提供しています。さらに、これから里親になろうという方々の養育実習の受け入れをし、授乳や沐浴の練習をしていただいています。

家庭の温かい愛情の中で生活する経験は、子どもの成長や将来にとっても大切です。里親さん家庭では、子どもたちを家族の一員として迎え入れ、一人ひとりを大切に愛情いっぱい育てて下さっています。



里親さんの沐浴実習

施設 TOPICS

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘

きれいなお花に笑顔も満開

日赤鶯鳴荘では現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、入居者の皆様には移動制限やマスクの着用のお願い、また、ご家族様にも制限した面会（スカイプを利用したオンラインでの面会）を行っていただく等の感染対策を行っております。

そのため、例年近隣の小学校と共同で行ってきた花植え行事についても今年は規模を縮小し、入居者及び職員のみで行いました。子どもたちのにぎやかな声が聞こえず、例年よりは寂しい花植えとなりましたが、久しぶりの屋外での活動は入居者の皆様にとって良い気分転換になったようです。

当日は天候にも恵まれ、晴天の下、麦わら帽子を被り色とりどりのお花に喜びながら作業する皆さんがとっても印象的でした。

今後も日赤鶯鳴荘では新型コロナウイルス感染症対策に十分留意したうえで、入居者の皆様に笑顔になっていただけるような活動に努めます。

